

「見て、触れて、感じて、着て、歩いて、魅せて」  
伝統と革新をカタチに。

# 松阪もめん フェスティバル 2021 in MieMu

開催期間

2022 **3/19** **土** ▶ **27** **日** 9:00 ▶ 17:00

※3月22日(火)は休館日

開催場所

三重県総合博物館 2階交流展示室  
三重県津市一身田上津部田3060



松阪もめん  
フェスティバル  
2021



主催:松阪もめんフェスティバル実行委員会

共催:松阪市中心商店街活性化促進協議会・三重県総合博物館

協力:松阪市商店街連合会・松阪街づくり公社・松阪市観光協会・松阪商工会議所

NPO法人松阪歴史文化舎・手織り伝承グループゆうづる会・亀さんの家

松阪もめん手織りセンター・御絲織物株式会社

後援:松阪市・松阪市教育委員会

協力校

松阪工業高校・松阪高校・松阪商業高校・飯南高校・相可高校・三重高校・松阪あゆみ特別支援学校・三重中学校・殿町中学校・鎌田中学校・第一小学校

問い合わせ:松阪街づくり公社 TEL 0598-26-9500

## 1 松阪もめんフェスティバルとは

郷土の誇る伝統工芸の持つ歴史、文化はとても魅力的です。

「見て、触れて、感じて、着て、歩いて、魅せて」松阪もめんの魅力を、世代を越えて改めて確認し、発信するイベントです。



## 2 私たちを魅了する松阪もめんとは

「松阪もめん」は、天然藍の先染め糸を使って織り成す縞柄が特徴です。染め方で微妙な濃淡を表現できるので、デザインが無限にあります。着る人を選ばず、老若男女、どなたにでも合わせられ、よく映えること、また木綿という天然素材の持つ心地よさが魅力です。



## 3 松阪もめんの土壌となった松阪とは

松阪は1588年蒲生氏郷により開府され、楽市楽座の町づくりが進められました。江戸時代には松阪もめんを流通させ、多くの豪商を輩出した商業の町であり、その商人のまちとしての豊かさが自由闊達な松阪特有の文化を育み多くの偉人も生んでました。



## 松阪もめんを支える人たち

### 手織り伝承グループゆうづる会

手織り松阪もめんの歴史や文化、伝統を次の世代に伝えていくことの大切さ、またその気持ちを持ち続けることの大切さを、作品を制作することでその魅力と共に伝えていこうと日々研鑽しています。



### 亀さんの家

地域の人たちの交流と生き甲斐作りを目的に、生ごみをリサイクルした堆肥作りを行い、畑で野菜などを育てていましたが、土地柄、綿の木、コットンポールのあった風景を再現すべく、自分たちの作った堆肥を使い、有機綿の栽培に取り組み始めました。



### 松阪もめん手織りセンター

松阪もめん手織りセンターは、1984年三井家跡地に開設しました。あらゆる松阪もめん商品を取り扱い、機織り体験ができる唯一の松阪もめん専門店です。『嶋木綿は松坂の女業なり』と言われた松阪の女性の美意識を現在も受け継いでいます。近年では商品開発もめざましく名古屋モード学園とのコラボ商品など制作いたしました。



### 御絲織物株式会社

豊田自動織機で織られたみいと織松阪もめんの風合いは洗うほどに色の芽え、天然染料の藍の良さが百年の歴史を積み重ねてきた職人技からにじみ出ています。松阪もめん振興会設立に貢献し、天然染料藍染めのもめん糸を扱います。



### 三重県立 松阪高等学校



「松阪もめんの伝統が、現代を生きる人々にどのように受け継がれているか」をテーマとして、松阪もめんを使用した衣服の展示を取材し、それらを松阪市中心商店街の地図と組み合わせるとまとめた。

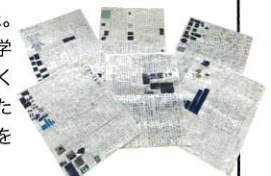
### 三重県立 松阪工業高等学校 繊維デザイン科

「ファッションショー“松阪MOMEN+（松阪もめん）”」松阪に通い繊維デザイン科で学ぶ私たちが、松阪もめんの歴史学習から、実際に糸染め・機織りを経て制作に至るまでを実施。松阪もめんの魅力を認識するとともに、高校生の視点からファッションとして再発信します。2021年度は「松阪もめん時」をテーマに制作・モデル・ヘアメイク全てを本科学徒が担当しました。今回の展示では、2018年度～2021年度までに制作した作品が勢揃いします。



### 松阪市立 第一小学校

松阪市立第一小学校4年生は、11月に松阪もめん手織りセンターへの見学に行ったり、ゆうづる会の方々から松阪もめんの良さや歴史について学んだりして、松阪もめんのことが大好きになりました。そして、自分たちが学んだことをもっとたくさんの人に知らせたいと、この壁新聞を作成しました。



## これからへの 想い

正藍染めの糸で織られた松阪もめんは、質の良さと目を惹く柄が粋とみられ江戸っ子の間で人気を呼びました。現代においても松阪もめんは、工芸品ではなく、身近に感じて毎日使う、なくてはならないアイテムになってもらいたいと考えています。縦と横に紡いだものがふるさとの伝統的日用品として誇りに思えるものとして次代を担う人たちに受け継がれてほしいと願っています。地元松阪の人が自慢できる逸品になりますよう親しんでほしいです。



## 松阪もめんフェスティバルの舞台 松阪中心商店街って？

戦国武将 蒲生氏郷が築いた城下町の名残を至る所に残す、風情溢れる街並みとともに旧参宮街道や旧和歌山街道に続く通りに中心商店街が広がっています。ゆっくり散歩して歴史文化の発見や食べ歩きとお買い物を楽しんでください。

